



# 家族の思いをくみ取るアセスメント・ケア・関わり方 実践事例で学ぶ! 認知症高齢者を支える 家族とのコミュニケーション



※講義時間：170分

**家族が抱える悩みをアセスメントして、適切なケア、コミュニケーションへとつなげる**

山下いずみ氏

江別市立病院  
認知症疾患医療センター看護師長  
患者支援センター看護師長  
老人看護専門看護師

札幌医療福祉専門学校卒業後、江別市立病院に勤務し現職。2008年北海道医療大学大学院看護福祉学研究科修士課程(老人看護学専攻)修了。2010年12月老人看護専門看護師資格を取得。院内、地域や各種学会で高齢者と家族の意思を支えるケア、認知症高齢者のケアについての講演や発表も多い。臨床での豊富な経験を活かし、現場がイメージしやすく、実践につながる解説を行う。

録画配信

[視聴期間]

オンライン

約2週間

※視聴開始日を指定いただけます。

受講料  
税込

一般 13,000円 会員 10,000円

※テキストはpdfでご提供します。(印刷可)  
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

## プログラム

### 1. 認知症高齢者の家族ケアで大事な基本と考え方

- 家族の基本と認知症高齢者介護を取り巻く環境
  - ・ 家族の機能や捉え方
  - ・ 家族の介護状況や基本属性
  - ・ 介護者の抱える悩みと問題点 ほか
- 家族の思いをくみ取るコミュニケーション
  - ・ 家族ケアの基本姿勢
  - ・ 家族がたどる心理的な経過
  - ・ 家族のニーズを把握するためのアセスメント
  - ・ COVID-19で面会禁止・制限がある中での家族ケア

### 2. 実践事例で!

#### 認知症高齢者の家族ケアの具体策

\* 家族ケアにつながるアセスメントと家族への支援について考えます

#### 【認知症本人と家族の関わり】

- ・ 認知症の症状があると思うが、本人を病院に連れていけない
- ・ 自宅で介護しているが介護拒否や拒薬がある
- ・ お金へのこだわりが強い
- ・ 自宅で興奮して対応できない

#### 【家族と医療者の関わり】

- ・ 本人と家族は自宅退院を希望しているが、医療者は難しいと判断している
- ・ 患者の回復具合の認識が家族と医療者でズレている
- ・ 家族は経口摂取を望むが、医療者は難しいと判断している

#### 【連携の悩み】

- ・ 認知症高齢者よりも家族の意向が尊重された意思決定支援が行われている
- ・ 療養環境が変化するたびにせん妄状態になる

プログラムや講師プロフィールなどセミナーの詳細はこちらから▶

日総研 17126

検索

関連雑誌

現場実務のスキルアップ!

認知症看護と看取りの実践・教育に!

臨床 **老年看護**

B5判 96頁  
入会金 3,000円  
年間購読料  
18,900円(共に税込)

Web教材+実務専門誌(定期刊行物・会員制)

今後の特集

- 一般・療養病床における高齢・認知症患者のケア [5-6月号]
- がんの知識と高齢がん患者の看護 [5-6月号]
- グリーフについて考える [5-6月号]
- 高齢者のうつ病・うつ状態の理解と看護 [7-8月号]
- 睡眠と睡眠障害について考える [7-8月号]
- 老年看護学教育の工夫と実際 [7-8月号]

優れた接遇サービスを実践する病院・介護事業所を表彰



日総研 **接遇大賞**

応募は9月30日まで。発表は11月。

これまで受賞された全48施設の特色を  
Webで公開中

接遇大賞

検索

国家資格の受験資格を取得することができる養成所

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

**社会福祉士養成所 通信課程**

**精神保健福祉士養成所 通信課程**

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索